

# W T O 農 業 交 渉 及 び 日 豪 E P A 交 渉 に お け る 適 切 な 対 応 に 関 す る 緊 急 要 望 ( 案 )

## 緊 急 要 望

- 1 W T O 農 業 交 渉 に つ い て は、 各 国 の 農 業 生 産 条 件 の 違 い を 踏 ま え、 上 限 関 税 の 設 定 に 強 く 反 対 す る と と も に、 十 分 な 重 要 品 目 数 を 確 保 す る こ と。
- 2 日 豪 E P A 交 渉 に つ い て は、 米、 小 麦、 牛 肉、 乳 製 品、 砂 糖 な ど の 重 要 品 目 に つ い て、 関 税 撤 廃 の 除 外 の 対 象 と す る な ど 例 外 措 置 を 確 保 す る こ と。  
豪 州 が 我 が 国 の 重 要 品 目 に つ い て 十 分 配 慮 し な い 場 合 に は、 交 渉 の 中 断 も 含 め た 厳 し い 姿 勢 を も っ て 臨 む こ と。

## ( 理 由 )

### 1 W T O 農 業 交 渉 に つ い て

加 盟 各 国 ・ 地 域 に お け る 貿 易 の 国 際 ルール 確 立 の た め、 2 0 0 0 年 3 月 に 開 始 さ れ た W T O 農 業 交 渉 に つ い て は、 主 要 各 国 ・ 地 域 間 で 意 見 の 溝 が 埋 ま ら ず、 昨 年 7 月 に は 一 度 交 渉 が 全 面 的 に 凍 結 と な っ た が、 今 年 1 月 に 交 渉 が 再 開 さ れ た。

最 近 の 動 向 と し て は、 4 月 3 0 日 に、 特 に 重 要 品 目 に お い て 我 が 国 の 主 張 と 大 き な 隔 た り の あ る フ ェ ル コ ナ ー 農 業 交 渉 議 長 ペ ー パ ー が 示 さ れ る な ど、 今 後 の 交 渉 の 進 展 は 予 断 を 許 さ な い 情 勢 と な っ て い る。

よ っ て、 国 に お い て は、 W T O 農 業 交 渉 に お い て、 我 が 国 の 農 業 が 壊 滅 的 な 打 撃 を 受 け る こ と と な ら な い よ う、 一 層 粘 り 強 い 対 応 を お 願 い し た い。

## 2 日豪EPA交渉について

我が国と豪州との経済連携協定（EPA）については、本年4月に交渉が開始され、7月下旬には第2回交渉が予定されている。

豪州が日本への輸出に関心を寄せている農産物の多くは、米、小麦、牛肉、乳製品、砂糖など我が国にとって極めて重要な品目であり、これらについては日豪間で大きな生産性の格差がある。

このため、これらの品目において関税が撤廃されるなど、今後の交渉の結果いかんによっては、我が国の農業のみならず関連産業など地域経済が壊滅的な打撃を受けるとともに、食料自給率も低下し、さらには、農業・農村が有している多面的機能も損なわれることとなる。

よって、国においては、今後進められる日豪EPA交渉について、我が国の農業が壊滅的な打撃を受けることとならないよう、強い態度で対応をお願いしたい。

平成19年5月

九州地方知事会